





成二十九年）三月に実施した時には、一二大学八〇名の参加がありました。みんな、自費参加です。作業は、オノで刈る役と刈られたさとうきびを運ぶ役の二つで、作業時間は半日です。作業は農家の方に指導してもらいます。さとうきび刈りは、ほとんどの人が初めてで、悪戦苦闘しています。特に今年は晴だったので太陽が照りつけてとても暑い中の作業となりました。びっしり汗をかきましたが、刈り終わったあとはとてもすがすがしい気持ちになりました。また、他大学のみなさんと協働することはとても楽しく、有意義な活動でした。さとうきび刈りの前日は交流夕食会（いわゆるコンパ）が開催されます。居酒屋さんでは、身分証明書の提示が求められ、未成年者はひとつのテーブルにまとめて座らせられます。もちろんノンアルコールの飲み物しか提供されません。夕食会では、活動のこと、勉強のこと、就職のこと、恋愛のこと、沖縄のことなどいろいろなことを話題にして、交流を深めます。こちらの方もとても楽しく、有意義であつという間に時間が過ぎました。今年は、さとうきび刈り、交流夕食会とも沖縄総合事務局の若手職員の方も参加していただきました。

沖縄県内ではいろいろなことが起こっていますが、私たち県内外の若い世代が汗を流しながら協働して、交流して、知り、理解しあうことが重要なことではないかと思いました。

### 白米千枚田（能登・世界農業遺産） 保全活動応援in石川

石川県輪島市にある世界農業遺産の白米千枚田において、平成二十六年から保全活動を応援しています。白米千枚田は、日本海に面して一、〇〇四枚の小区画の棚田が連なり、平成十三年に国名勝に指定されまし

た。さらに、平成二十三年に能登の里山里海が世界農業遺産に認定され、白米千枚田はその象徴的な棚田となっており、その美しい景観は多くの観光客に親しまれており、重要な観光資源のひとつとなっています。現在、公益財団法人白米千枚田景勝保存協議会（会長輪島市長）及び白米千枚田愛耕地会が棚田保全活動に取り組んでいます。サークルネットでは、田

起こし、田植え、草取り、稲刈りを応援しています。各作業の指導は、愛耕地のみなさんに指導していただきます。昨年（平成二十八年）の稲刈りには、一〇大学七五名が参加しました。こちらも自費参加です。稲刈り終了後は、愛耕地の地元の農家の方も交えて、交流会も実施しました。愛耕地の会長から、白米千枚田の歴史や保全活動についてお話しがありとても勉強になりました。保全活動の応援のモチベーションがますます上がりました。この日の午前中に、輪島市主催の「棚田で結婚式」が行われ、こちらの方もサークルネットが運営に協力しました。二組のカップルが結婚式を挙げられました。平成二十七年の田植え時には、農林水産省の全国地方農政局長会議の一環で事務次官や各地方農政局長さんがサークルネットの活動状況を視察にいられました。事務次官と各大学生サークルの代表との意見交換も行われました。事務次官のお話しはとても勉強になり、有意義でした。各地方農政局長さんのお話しもとても勉強になりました。今年も既に作業が始まっており、五月二十日は田起こし、六月三日は田植えの応援です。

以上の活動の他にブロック単位（数大学で）で活動を行っています。例えば、関東ブロックで俳優菅原文太氏のおひさまの里農園（山梨県北杜市）の応援、静岡県内の棚田保全の応援などです。

また、卒業しても応援活動に参加できるように、サークルネットの東京OB会と北陸OB会が設立されてい



稲刈り後の交流会の集合写真

ます。

ここで、各大学のサークルネット以外の活動(むしろこれらの活動の方が主な活動ですが)の概要を紹介します。

各大学の学生サークルは、大学所在地の県内の農業集落の農業やむらづくりの応援を主な活動としています。各学生サークルと地域とのマッチングは中里氏がコーディネートを行いました。

①琉球大学「おきなわ食農研究会」琉球野菜の復活プロジェクトの応援、②静岡大学「棚田研究会」棚田での保全活動やイベントの応援、③山梨県立大学「田園を楽しむ会」俳優の菅原文太氏のおひさまの里農園(北杜市)の無農薬、有機栽培の応援、④信州大学「むらづくり応援隊」南箕輪村(行政)が行う農業農村体験、都市農村交流イベントの応援、⑤新潟大学「むらづくり研究会」新潟市の事業で行う団体の地域づくりの応援、⑥富山大学「援農団体たっぐ」農村文化の菅笠の保全の応援、⑦富山県立大学「水土里保全研究会」ブランド農産物「ふくふく柿」の復活の応援、⑧金沢大学「里地里山応援隊」祭、イベント等地域おこしの応援、⑨福井大学「農業村応援し隊」えごまなど農産物加工物のブランド化の応援、⑩福井県立大学「里山応援隊」坂井北部土地改良区(坂井市)の幼稚園児のいもほりなど農業体験の応援、⑪石川県立大学「学生援農隊あぐり」米のブランド化や地域づくりの応援、⑫千葉大学「援農お宝発掘隊」柏市が主導する農業体験、都市農村交流活動の応援、⑬茨城大学「のらボーイ&のらガール」NPO法人グラウンドワーク笠間の耕作放棄地の解消、農産物加工物のブランド化の応援、⑭明治大学「楽農4日クラブ」みそなど伝統発酵食品の復活プロジェクトの応援、⑮北里大学「北里農援隊」

羊の復活プロジェクトの応援、⑯常葉大学「学生援農隊」JAとびあ浜松の依頼によりキャベツなど地域の主要農産物の収穫作業などの応援、⑰東京大学「むら塾」地域づくりの応援を行っています。各大学は上記の活動以外にも様々な活動を行っています。

### 金沢大学里地里山応援隊は地域おこしに汗をかいています。

平成二十五年、中里氏が北陸農政局整備部長の時に金沢大学に來校して、「大学生のみなさん！農村にかわりませんか」というテーマで講義を行い、サークルの設立を呼びかけられ、サークルが設立されました。当大学は、農学部がなく経済学類の学生が主な部員となっていて、現在九名で以下の活動を行っています。

#### ①白山市井口

白山市井口地区では区内に若者を出入りさせ、活気を取り戻したいということで初年度(二〇一四年度)より応援をさせていただいています。当地区では若者が他地域に出ていってしまい、高齢化が進んでいるそうです。そこで私たち学生が当地区に出入りすることで集落の活気を取り戻そうとしています。

活動内容としては、当地区で広く栽培されているブロッコリーの収穫をはじめとした農作業や作物の販売のお手伝い、左義長や虫送りといった地域的なお祭りへの参加など非常に多岐にわたります。



サークル農園での種まきの様子

住民の方々はとても親切な方ばかりで私たち学生に積極的に声をかけてくださり、学生との会話を楽しみにしている様子が見受けられます。私たち学生も農村集落の住民の方々との交流は非常に有意義な経験であり、楽しみにしていることの一つです。

また、当地区では農地を貸していただきサークル農園も営んでいます。昨年度(二〇一六年度)はタマネギ、ニンジン、ジャガイモ、サツマイモ、カボチャ、スイカ、トウモロコシを栽培しました。

これまで農業に携わってこなかった学生も多いため、作物を育てる大変さ、自分たちで作った作物を料理する楽しさを実感しています。

サークル農園で育てた作物は、日ごろからの感謝を込め、井口の住民の方々にカレーなどをふるまったり、自分たちで料理したりして活用しています。また、金沢大学主催の学園祭である金大祭にも出品しています。

#### ②かほく市河北潟

かほく市河北潟では、主に環境保全活動の応援を行っています。

河北潟は農地開発のための干拓により、環境が悪化しそれが大きな問題となりました。そのため現在では多くの団体が集まり、環境保全に取り組んでいます。

前年度は当地域で行われる自然再生まつりというイベントの一環で、水質調査を行いました。



水質調査体験の様子

これまでの各団体の取り組みにより河北潟の水質は概ね回復していることがわかりました。





竹ドーム作りの様子

楽しんでいた様子で  
した。両者の目的が  
マッチした活動だっ  
たと思うので、今後  
も続けていきたいと  
思います。  
**④ 学園祭**  
私たちは二〇一四  
年度より金沢大学の  
学園祭である、金大  
祭に自分たちで育て

た野菜を調理し、出  
品しています。野菜  
は井口地区のサーク  
ル農園で育てた野菜  
を使っています。昨  
年度(二〇一六年度)  
は前回大変好評だっ  
たポテトもちをより  
改良した野菜もちを  
出品しました。  
自ら育てた野菜を  
どのように調理し、  
工夫すれば買ってもら  
えるか会議や試作会を  
行い、試作会を行い、  
行錯誤しながら毎年や  
っています。準備は大  
変ですが、自分たちで  
育てた野菜を使った料  
理を嬉しそうに食べ  
てもらえるのを見て、  
やりがいを感じまし  
た。



桂 貴洋

金沢大学地域創造学類  
(環境共生コース) 三年  
出身地: 愛知県  
出身校: 岡崎北高校  
趣味: 旅行、ランニング

また、自然再生まつりでは河北潟の環境悪化の歴史  
や改善のための取り組みについて展示がされていたの  
で、それらを見て河北潟についての学習も行いました。  
**③ 珠洲市上黒丸**  
珠洲市上黒丸地区では「北山菜」という伝統的な野  
菜の商品化の応援をしています。  
初年度では北山菜の特性などについて調査を行いま  
した。ただ、これまで参画させていただいていた「北  
山菜」の商品開発については都合が合わず、お話しで  
きなかったため、来年度以降の課題と考えています。  
その代わりに昨年度(二〇一六年度)はホタル観賞  
会の応援を行いました。  
当地区は高齢化が進んでおり、鑑賞会の準備が集落  
住民のみでは人手が足りないということで、看板設置  
やテントの設営、竹ドーム作りなどをお手伝いしまし  
た。  
地域のイベントが人口や年齢などの理由で行えなく  
なることで地域から活気も失われてしまうと私は考え  
ます。また、参加する学生は様々なことに興味を持つ  
ものも多く、自然豊かな地域で行われるお祭りの様子  
を見るのができ、

各大学の学生に聞いてみました。  
**① 農業体験や農家の話を聞くことで、農業、農村に  
関する興味、知識、探究心が深まっている。特に、農**  
業集落の方に聞いてみました。  
**① 高齢農家の農作業の負担軽減が図られる、② 農産  
物のブランド化や商品化など農業振興やむらづくりの  
アイデアや作業協力を得ることができている、③ イベ  
ントやお祭りの運営協力(神輿の担ぎ手の確保等)や  
参加により、地域が賑わい活性化に寄与する、④ 大学  
生が尊敬の念を持って、農家に接するとともに、環境  
など地域の素晴らしさを称賛することにより、農家は  
農業や住んでいる農村地域を誇りに思う、が主な意見  
でした。**  
**サークルネットや各大学独自の活動に対する  
評価を聞いてみました。**  
高年齢農家の農作業の負担軽減が図られる、② 農産  
物のブランド化や商品化など農業振興やむらづくりの  
アイデアや作業協力を得ることができている、③ イベ  
ントやお祭りの運営協力(神輿の担ぎ手の確保等)や  
参加により、地域が賑わい活性化に寄与する、④ 大学  
生が尊敬の念を持って、農家に接するとともに、環境  
など地域の素晴らしさを称賛することにより、農家は  
農業や住んでいる農村地域を誇りに思う、が主な意見  
でした。



金大祭の出店風景

学部以外の学生が農業、農村を知る機会となり意義が  
深い、② 社会貢献、地域貢献の意味、必要性を深く考  
えるようになるとともに、「少しは世の中に役に立っ  
ている」という喜びと自信を持つことができる、③ 農  
家、行政、マスコミ等様々な人と関わることににより、  
社会人の接し方を学ぶとともに、コミュニケーション  
能力が向上する。また、将来の職業選択の参考となる、  
が主な意見でした。  
また、サークルネットや大学独自活動により、静岡  
大学が「食と地域の『絆』づくり優良事例」表彰(農  
林水産省日二十四)、石川県立大学が「オーライ・ニッ  
ポン大賞」審査会長賞(農林水産省日二十六)を受賞  
しています。加えて、琉球大学、静岡大学、石川県立  
大学が「学長賞」を受賞しています。  
経済学を主に学ぶ私は、農業についても自由貿易推  
進、TPP賛成、国際分業論賛成、経済効率性優先の  
考えでした。しかし、サークルネットや大学独自の活  
動を行う中で、農業農村に触れ、農家の方のお話し聞  
き、農業農村は私たちに大切な食料に加え、豊かな環  
境を提供しており、経済効率だけの側面で考えるもの  
ではないという思いがしています。  
将来は農業農村に関われる仕事がしたいと考えてい  
ます。